



# 一般財団法人 日欧産業協力センター レポート 欧州グリーンディール EU Policy Insights

**Vol.34 2025 年 12 月**

## **「低炭素燃料に関する委任法令の制定」**

- 本資料は、当センターの公式見解を示すものではありません。
- 本レポートの内容は別途記載がない限り執筆時点で入手している情報に基づくものであり、その後の状況変化や追加政策発表により変わる場合があります。
- 本レポートへのご意見、取り上げて欲しいトピック等、お寄せください。

[eujp-info@eu-japan.or.jp](mailto:eujp-info@eu-japan.or.jp)

**一般財団法人 日欧産業協力センター**

〒108-0072 東京都港区白金 1-27-6 白金高輪ステーションビル 4 階

TEL: 03-6408-0281 FAX: 03-6408-0283

E-MAIL : [eujp-info@eu-japan.or.jp](mailto:eujp-info@eu-japan.or.jp)

## 「低炭素燃料に関する委任法令の制定」

### サマリー

EU は、再生可能エネルギー由来の水素(RFNBO)に加えて、化石燃料由来や原子力由来で炭素強度が低い水素を低炭素水素と定義し、利用を促進するための規制（委任規制）を制定した。この新たな規制では、RFNBO（いわゆるグリーン水素）と同等の排出量削減効果のある低炭素水素として化石燃料の改質と CCS（二酸化炭素の回収・固定）を組み合わせる製造する水素（いわゆるブルー水素）などを定義し、その排出量削減効果の計算手法を定めている。これは、RFNBO はコストが高くなりがちで、かつ追加性や地域性などの厳しい要件があることから、炭素強度が十分低い他の製造方法についても認めてほしいという産業界の要望を踏まえてのことである。低炭素水素としては、原子力由来の電力を用いて製造する方法（いわゆるピンク水素）もあるが、今回は位置付けられることはなく、今後 2028 年 7 月までに行う再評価の中で継続的に検討されることとなった。低炭素水素の排出量評価については、RFNBO に比べるとより多様なエネルギー源・製造方法を対象とすることになり計算手法・基準値の設定が複雑となる。このことが投資家には負担となり、水素プロジェクトへの投資が滞ることが懸念されている。

### 1. 低炭素燃料に関する委任法令

EU は再生可能エネルギーに由来して製造される水素等の燃料を「非生物起源の再生可能燃料(RFNBO)」と定義して普及に努めている（詳細は欧州グリーンディール EU Policy Insights Vol.31 クリーン水素の定義において既報）。

**賛助会員・関係者の皆様のみ全文閲覧・ダウンロードが可能です。**

賛助会員へのご入会[こちら](#)